

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援事業所chouchou本庄		公表日		令和7年1月24日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	・常に5・6人いるため ・子供職員に対する配置数は未定だが適切である ・お子様の発達に合わせて職員はつくことが出来ている	・スタッフが休みがあると足りないと感じるため。 ・配置数は適切であっても年齢や障害の程度によっては対応しきれない事がある	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		・視覚的にも分かれているようになっていて導線がしっかりしている ・支援室は広く生活しやすくなっている ・生活しやすい導線になっている	・棚が多く登ってしまったり危険もある	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		・導線に合わせて変化させている ・子供が心地よく生活出来るよう掃除や安全への配慮を行っている ・日々掃除をして清潔にしている	・必要に応じて机を出し入れしている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	3	・個別学習を行う部屋がある	・子どもの机や椅子がおける相談室以外の場所があるよとい ・相談室はあるが落ち着くためのスペースとは言えない ・使用できる個室はない	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	1	・毎月の目標を決め改善に向け行っている ・職員同士の会話の中でPDCAを行えている		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・保護者と信頼関係が築ける様コミュニケーションを取りながら行っている		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・面談を行っている ・研修や朝礼、夕礼で伝達し改善へと繋がっている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	1		・不明	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		・月1行っている ・月1回の研修を行っている ・月1回延長支援は行わず研修日となっている ・月に一度研修を受けている		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		・1か月のプログラムを保護者に配布している ・支援プログラムが作成されている		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		・個々に合った支援計画書が作成されている		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・職員間で共有されている ・職員で情報共有しながら作成されている ・支援計画を職員全員が目を通し日々の支援に繋げている。		
	14	児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		・支援計画を共有し計画と共に支援を行っている ・作成された計画書を共有し日々個々にあった支援が行えるよう心掛けている		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		・しっかりと確認している	・不明	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		・個々に合った支援をふまえて支援内容を設定して下さっている		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		・決められたものを行っている ・職員で情報共有しながら行っている ・立案されているものをその日のリーダーが工夫して作っている		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		・1か月活動を考えて同じ活動がないよう工夫している ・子供一人一人に合った支援を工夫しながら行っている		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		・個別の時間を設けている ・行われている		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		・毎朝ミーティングで話している ・毎日朝礼で内容を確認している ・朝礼の時に共有、又は個々に声をかけ共有している		

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		・支援終了後にミーティングを行い共有している ・タレで情報共有している		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		・毎日記録している ・記録を残し改善へ繋げている		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		・行われている		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	2			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1	4			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1	4			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1	4			
	28	(28～30は、センターのみ回答)					
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答)					
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	3			
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		6			・交流したことはない	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			・日々の記録の報告と共にお子様の状況等共有している ・毎日保護者と情報共有しているので共通理解を持っている		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3		・行っている		
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			・行われている	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			・しっかりと設けている	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6			・得られている	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			・一度職員に共有し対応している ・保護者に寄り添いながら支援を行っている	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	4		・運動会や夏祭りなど行っている	・保護者会は開催出来ない今後行ってほしい
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			・児発言や療育リーダーへ相談し対応している ・迅速に行っている	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6			・日々のインスタグラム、毎月の通信の配布をしている ・発信している ・日々HAGやSNSで発信している	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			・鍵をかけて保管している ・留意している	

	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		・コミュニケーションを取りながら日々行っている	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		・定期的に行っている ・地震、火事、不審者、水害対策等2か月に1回行っている	・マニュアルはあるが職員だけで行う訓練をもっと増やしてもいいと思う
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		・定期的に行っている ・行っている	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		・入園前に確認している ・入所前にお子様の状況を確認している	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		・保護者に確認している	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		・行われている	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			・不明
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		・職員全員が共有している ・ヒヤリハットが行った場合職員間で共有出来ている	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		・研修を行っている	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4			・不明